

【発行元】

岐阜県福祉のまちづくり推進協議会  
〒501-3246  
関市緑ヶ丘2-5-78  
TEL : 0120-337-301  
FAX : 0575-24-5733

# 月刊 あったかいご通信

月刊「あったかいご通信」を発行する土地活用研究会は、地域密着の建設会社が福祉施設の開業をサポートする全国50社の国内最大級のネットワークです。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営のコツ、利用者募集や人材マネジメントなどリクエストも大歓迎です！

※記事引用 ・厚生労働省 ・国土交通省 ・㈱官公通信社 ・高齢者住宅新聞社 ・福祉新聞 ・日本経済新聞 他

## 重度後遺障害者 グループホーム・支援施設への 入所わずか

国土交通省「介護者なき後」調査の結果概要

	グループホーム	入所施設
入居(所)実績		
遷延性意識障害者	約0.4%	約23.3%
脊髄(せきずい)損傷者	約1.8%	約54.3%
対応可能ケア		
たんの吸引	約1.9%	約30.1%
胃ろう	約1.2%	約29.4%

障害者が暮らす全国のグループホームと入所施設を対象に、国土交通省が寝たきりで意思疎通も困難な最重度の「遷延（せんえん）性意識障害者」の入居（所）状況を調査したところ、回答したG Hで約0.4%、入所施設で約23.3%しか受け入れ実績がなかった。交通事故では重い後遺症を負った子を親が介護するケースが多く、「親なき後」の介護のあり方が家族の間で喫緊の課題になっている。介護者のいない障害者の居場所として期待されるG Hなどが受け皿となり得ていない実態が浮かんた。

調査では、たんの吸引など医療的ケアに対応できるG Hが少ないことが重度後遺障害者の受け入れを阻んでいる状況も判明。そのため同省は今年度から、重い後遺症がある交通事故被害者を受け入れるG Hと入所施設を対象に、自動車損害賠償責任保険の資金を活用し、職員の人件費などを補助する事業を始めた。

同省は「親なき後」対策に必要なデータを集めるため、2014年度から、G Hと入所施設を地域ごとに分け、アンケートした。今年度に調査する9385カ所に調査票を送り、G H 746、入所施設412のから回答があった。

それによると、遷延性意識障害者の受け入れ実績は、入所施設が96カ所（約23.3%）で、G Hは福島2、島根1の3カ所（約0.4%）だけだった。同様に重い後遺症が残る可能性がある脊髄損傷者は施設で約54.3%、G Hで約1.8%だった。同省は、回答がなかった施設、G Hでも受け入れは少ないとみている。

医療的ケアへの対応については「たんの吸引」は施設の約30.1%、G Hの約1.9%が「可能」と回答。胃に直接栄養を入れる「胃ろう」が「可能」なのは、施設で約29.4%、G Hで約1.2%だった。気管を切開した人を「受け入れ可能」としたのは施設の約8.0%、G Hで約0.5%。施設の実績が上回る一因は、集団処遇で効率的に医療や介護サービスを提供できるためとみられる。

国は「脱施設」をうたい、障害者の地域移行を進めている。交通事故後遺障害者の介護者からも家庭に近い環境で少人数の共同生活が送れるG Hを「親なき後」の受け皿として期待する声が強い。こうした意向を踏まえ、同省は職員増に伴う人件費補助（1カ所で最大年1080万円）▽介護ベッド等医療機器購入費（同400万円）▽医療的ケアに関する職員研修費（全額補助）――の計1億4890万円を予算化した。